

## 財務概要 【平成24年度】

本学では、財務情報の公開にあたり、文部科学省私学部長通知(平成16年7月23日)の様式例に従って、次の計算書類を公開しております。

### I 資金収支計算書

《資金収支計算の目的》 学校法人会計基準 第6条より

学校法人は、毎会計年度、当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容並びに当該会計年度における支払資金(現金及びいつでも引き出すことができる預貯金)の収入及び支出のてん末を明らかにするため、資金収支計算を行なうものとする。

資金収支計算書は企業会計では作成されない計算書類です。

企業では資金状況を開示するために『キャッシュ・フロー計算書』が作成されます。

### II 消費収支計算書

《消費収支計算の目的》 学校法人会計基準 第15条より

学校法人は、毎会計年度、当該会計年度の消費収入及び消費支出の内容及び均衡の状態を明らかにするため、消費収支計算を行なうものとする。

消費収支計算書も資金収支計算書同様、企業会計では作成されませんがその内容は、企業会計で作成される『損益計算書』に類似しています。

### III 貸借対照表

企業会計で作成される『貸借対照表』とほぼ同じ内容となっています。

一般的な企業では流動性の高いものから順に表示しますが(流動性配列法)

学校会計では固定性の高いものから順に表示しています(固定性配列法)。

これは、学校法人が存続するために「土地」「建物」「備品」等の固定資産が非常に重要であることを示しています。(構成については後述参照ください。)

### IV 財産目録

財産目録は企業会計では作成されませんが、その内容は、資産及び負債の詳細を表しており、貸借対照表の補完的なものとなっています。

#### 貸借対照表の構成



[ 資産 = 負債 + 基本金 + 消費収支差額 ] となり常にバランスしていることから貸借対照表のことを『バランスシート』とも言います。

①資産について



学校法人の所有する財産



②負債について



将来支払わなければならないもの

固定〇〇・・・貸借対照日の翌日から一年を超えて決済するもの  
 流動〇〇・・・貸借対照日の翌日から一年以内に決済するもの

③基本金について

**③基本金** 学校存続のため、永続的に必要な資金

- 第1号基本金 学校法人が教育のために使用する固定資産の価額
- 第2号基本金 将来必要となる固定資産の取得に充てる積立預金等
- 第3号基本金 奨学基金等、基金として継続的に保持し運用する資金
- 第4号基本金 学校法人の運営に必要な資金（運転資金）

④消費収支差額について



## 資金収支計算書

平成24年4月 1日から  
平成25年3月31日まで

## 収入の部

(単位:円)

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	2,833,930,000	2,826,494,943	7,435,057
手数料収入	34,740,000	33,242,540	1,497,460
寄付金収入	108,550,000	110,655,558	△ 2,105,558
補助金収入	800,156,000	819,301,742	△ 19,145,742
国庫補助金収入	259,856,000	242,772,554	17,083,446
地方公共団体補助金収入	540,300,000	576,529,188	△ 36,229,188
資産運用収入	20,150,000	24,282,034	△ 4,132,034
事業収入	43,500,000	49,149,598	△ 5,649,598
雑収入	107,390,000	176,764,676	△ 69,374,676
前受金収入	362,600,000	351,719,870	10,880,130
その他の収入	1,308,751,359	1,104,849,604	203,901,755
資金収入調整勘定	△ 507,756,790	△ 535,258,750	27,501,960
前年度繰越支払資金	1,759,534,972	1,759,534,972	0
<b>収入の部合計</b>	<b>6,871,545,541</b>	<b>6,720,736,787</b>	<b>150,808,754</b>

## 支出の部

科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	2,606,160,000	2,657,986,795	△ 51,826,795
教育研究経費支出	672,732,398	690,224,399	△ 17,492,001
管理経費支出	343,303,500	315,018,842	28,284,658
施設関係支出	1,233,300,000	999,355,168	233,944,832
設備関係支出	102,825,000	132,431,918	△ 29,606,918
資産運用支出	624,050,000	585,520,815	38,529,185
その他の支出	194,146,696	258,054,845	△ 63,908,149
[ 予備費 ]	2,000,000		2,000,000
資金支出調整勘定	△ 93,961,468	△ 175,039,025	81,077,557
次年度繰越支払資金	1,186,989,415	1,257,183,030	△ 70,193,615
<b>支出の部合計</b>	<b>6,871,545,541</b>	<b>6,720,736,787</b>	<b>150,808,754</b>

# 消費収支計算書

平成24年4月 1日から  
平成25年3月31日まで

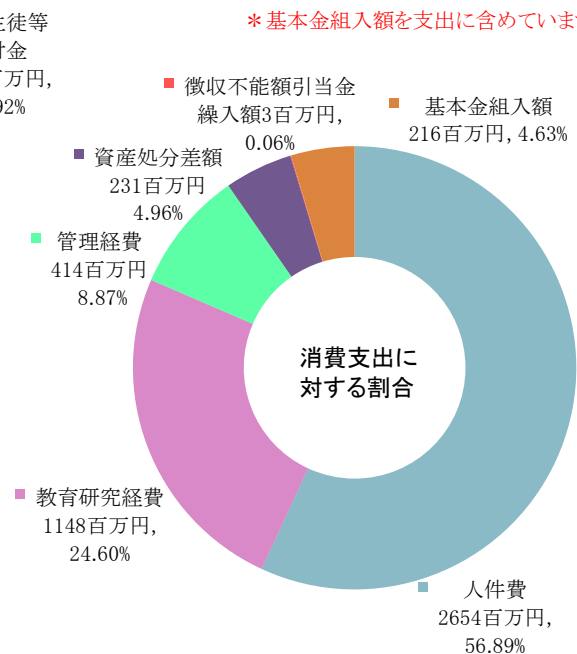
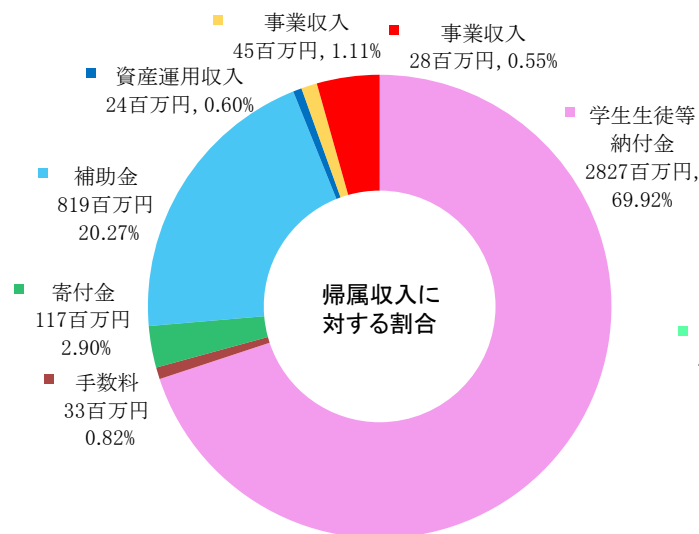
## 消費収入の部

(単位:円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	2,833,930,000	2,826,494,943	7,435,057
手数料	34,740,000	33,242,540	1,497,460
寄付金	111,550,000	117,333,897	△ 5,783,897
補助金	800,156,000	819,301,742	△ 19,145,742
国庫補助金	259,856,000	242,772,554	17,083,446
地方公共団体補助金	540,300,000	576,529,188	△ 36,229,188
資産運用収入	20,150,000	24,282,034	△ 4,132,034
事業収入	43,500,000	44,804,832	△ 1,304,832
雑収入	107,390,000	176,764,676	△ 69,374,676
帰属収入合計	3,951,416,000	4,042,224,664	△ 90,808,664
基本金組入額合計	△ 268,805,000	△ 216,000,000	△ 52,805,000
<b>消費収入の部合計</b>	<b>3,682,611,000</b>	<b>3,826,224,664</b>	<b>△ 143,613,664</b>

## 消費支出の部

科目	予算	決算	差異
人件費	2,625,960,000	2,654,476,900	△ 28,516,900
教育研究経費	1,118,032,398	1,147,682,431	△ 29,650,033
管理経費	444,903,500	413,832,240	31,071,260
資産処分差額	168,900,000	231,246,743	△ 62,346,743
徴収不能額引当金繰入額	6,500,000	2,905,843	3,594,157
[ 予備費 ]	2,000,000		2,000,000
<b>消費支出の部合計</b>	<b>4,366,295,898</b>	<b>4,450,144,157</b>	<b>△ 83,848,259</b>
当年度消費収入支出超過額	683,684,898	623,919,493	
前年度繰越消費収入支出超過額	1,205,833,668	1,204,259,379	
基本金取崩額	0	1,144,594	
翌年度繰越消費収入支出超過額	1,889,518,566	1,827,034,278	



## 貸借対照表

平成25年3月31日現在

### 資産の部

(単位:円)

科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	18,369,404,821	18,307,444,123	61,960,698
有形固定資産	10,419,567,591	10,058,438,035	361,129,556
その他の固定資産	7,949,837,230	8,249,006,088	△ 299,168,858
流動資産	1,459,910,934	1,914,488,228	△ 454,577,294
<b>資産の部合計</b>	<b>19,829,315,755</b>	<b>20,221,932,351</b>	<b>△ 392,616,596</b>

### 負債の部

科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	867,996,856	874,045,991	△ 6,049,135
流動負債	533,397,853	512,045,821	21,352,032
<b>負債の部合計</b>	<b>1,401,394,709</b>	<b>1,386,091,812</b>	<b>15,302,897</b>

### 基本金の部

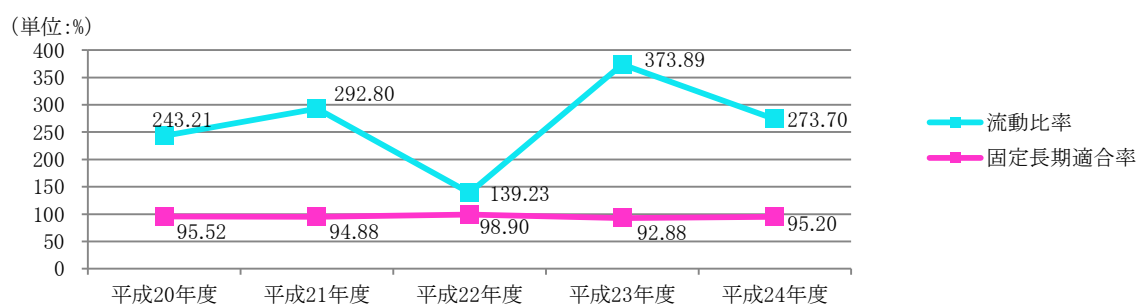
科目	本年度末	前年度末	増減
第1号基本金	17,197,686,146	16,648,830,740	548,855,406
第2号基本金	2,612,871,226	2,962,871,226	△ 350,000,000
第3号基本金	126,397,952	126,397,952	0
第4号基本金	318,000,000	302,000,000	16,000,000
<b>基本金の部合計</b>	<b>20,254,955,324</b>	<b>20,040,099,918</b>	<b>214,855,406</b>

### 消費収支差額の部

科目	本年度末	前年度末	増減
翌年度繰越消費支出超過額	1,827,034,278	1,204,259,379	△ 622,774,899
<b>消費収支差額の部合計</b>	<b>△ 1,827,034,278</b>	<b>△ 1,204,259,379</b>	<b>△ 622,774,899</b>

科目	本年度末	前年度末	増減
<b>負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計</b>	<b>19,829,315,755</b>	<b>20,221,932,351</b>	<b>△ 392,616,596</b>

### 《 安全性についての財務分析 》



【流動比率】 短期の安全性についての財務指標  
高いほど安全性が高い。京滋大学法人平均値 : 201.7%

流動資産 ÷ 流動負債 × 100 (%)

【固定長期適合率】 長期の安全性についての財務指標  
低いほど安全性が高い。京滋大学法人平均値 : 94.4%

固定資産 ÷ (自己資金 + 固定負債) × 100 (%)  
\* 自己資金 = 基本金 + 消費収支差額



# 監査報告書

平成25年5月27日

学校法人ノートルダム女学院

理事長 和田 環 様

学校法人ノートルダム女学院

監事 後藤 勝



監事 辻 孝 司



私たちは、平成24年4月1日から平成25年3月31日までの平成24会計年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおりに報告する。

## 1 監査方法の概要

- (1) 会計監査については、清友監査法人より監査方法の説明を受け、監査結果の報告を受けた。
- (2) 業務監査については、理事会に出席し、理事会の審議事項や業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など監事として必要と思われる監査手続において業務執行の妥当性を検討した。

## 2 監査意見

- (1) 資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表及び財産目録は会計帳簿の記載額と一致し、法人の収支状況及び財政状態を正しく示していると認める。
- (2) 決算報告書の内容は適正かつ正確であると認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正行為又は法令もしくは寄附行為に違反する事実はないと認める。